

第 16 回伊那新校再編実施計画懇話会

日時：令和 5 年 11 月 2 日（木）

18 時～19 時 30 分

会場：長野県伊那合同庁舎 講堂

<次 第>

1 開 会

2 挨 拶

3 会議事項

- (1) 第 15 回伊那新校再編実施計画懇話会まとめについて
- (2) 学校での検討の進捗状況について
- (3) NSD プロジェクトの進捗状況について
- (4) 統合の方法について
- (5) 意見交換

4 その他

5 閉 会

第16回 伊那新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

○印 令和5年11月からの構成員

区分	氏名	所属等
自治体	伊藤 徹	伊那市 副市長
	片桐 健	飯島町教育委員会 教育長
	本多 俊夫	駒ヶ根市教育委員会 教育長
	田中 章	上伊那広域連合 前事務局長
	唐澤 直樹	上伊那広域連合 事務局長
産業界	田畑 和輝	伊那商工会議所 監事
	春日 俊也	駒ヶ根商工会議所 副会頭
	黒河内 貴	株式会社仙醸 代表取締役社長
学識 経験者	片山 茂	信州大学農学部 副学部長
	高橋 百合子	長野県看護大学 小児看護学講師
地域	河野 宏	一般社団法人上伊那医師会 長野県学校医委員会委員
	中山 佳代	元上伊那地域の高校の将来像を考える協議会 委員
	布山 澄	上伊那地域振興局 局長
同窓会	山田 益	伊那北高等学校同窓会 運営委員会委員長
	下島 典子	伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会 会長
P T A	善積 峰子	伊那北高等学校 P T A 副会長
	○水村 節子	伊那弥生ヶ丘高等学校 P T A 副会長
	林 英之	上伊那 P T A 連合会 会長
学校 関係者	袖山 秀明	上伊那小学校長会 会長（辰野町立辰野西小学校長）
	齊藤 博	上伊那中学校長会 会長（宮田村立宮田中学校長）
	原 潤	伊那養護学校 校長
統合校 関係者	有賀 希	伊那北高等学校 生徒代表
	宇治田 このか	伊那北高等学校 生徒代表
	○森下 裕太	伊那弥生ヶ丘高等学校 生徒代表
	○小林 紗菜	伊那弥生ヶ丘高等学校 生徒代表
	埋橋 浩	伊那北高等学校 校長
	山岡 久俊	伊那北高等学校 教諭
	松村 明	伊那弥生ヶ丘高等学校 校長
	唐澤 功	伊那弥生ヶ丘高等学校 教諭

事務局

伊那北高等学校		伊那弥生ヶ丘高等学校		高校再編推進室	
倉澤 克弥	(教頭)・事務局長	佐々木 俊秀	(教頭)・副事務局長	中島 秀明	主幹指導主事
山岡 久俊		唐澤 功		田中 聡	主任指導主事 (伊那新校担当)
倉石 典広		春日 雅博		原 多恵子	主任指導主事 (伊那新校副担当)
桐生 祐治		竹松 ゆかり			
齋藤 仁美		常田 真由美			
		瀧澤 洋貴	I C T 担当		

第15回伊那新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日時・会場	令和5年(2023年)5月26日(金) 18時00分～19時30分 長野県伊那合同庁舎講堂
出欠席	懇話会構成員26名出席 (欠席者(敬称略):田畑和輝、春日俊也、黒河内貴、布山 澄、山田 益、原 潤、山岡久俊) 事務局(高校再編推進室:柳澤主幹指導主事、田中主任指導主事、宮崎主事、 伊那北高校4名、伊那弥生ヶ丘高校4名)
傍聴者	傍聴8名(オンライン含む)、報道3社
会議事項	(1) 上伊那広域連合等からの要望の報告 (2) 第14回伊那新校再編実施計画懇話会のまとめについて (3) 伊那新校での学びについて (4) NSDプロジェクトの進捗状況について (5) 意見交換
当日資料	第15回懇話会次第、第15回伊那新校再編実施計画懇話会構成員名簿、第14回懇話会まとめ、伊那新校(仮称)に関する要望書について、伊那新校の学び資料「探究について思うこと」、NSDプロジェクト進捗資料「懇話会05.26」、会場配置図、意見交換ワークシート

主な内容(意見及び発言)

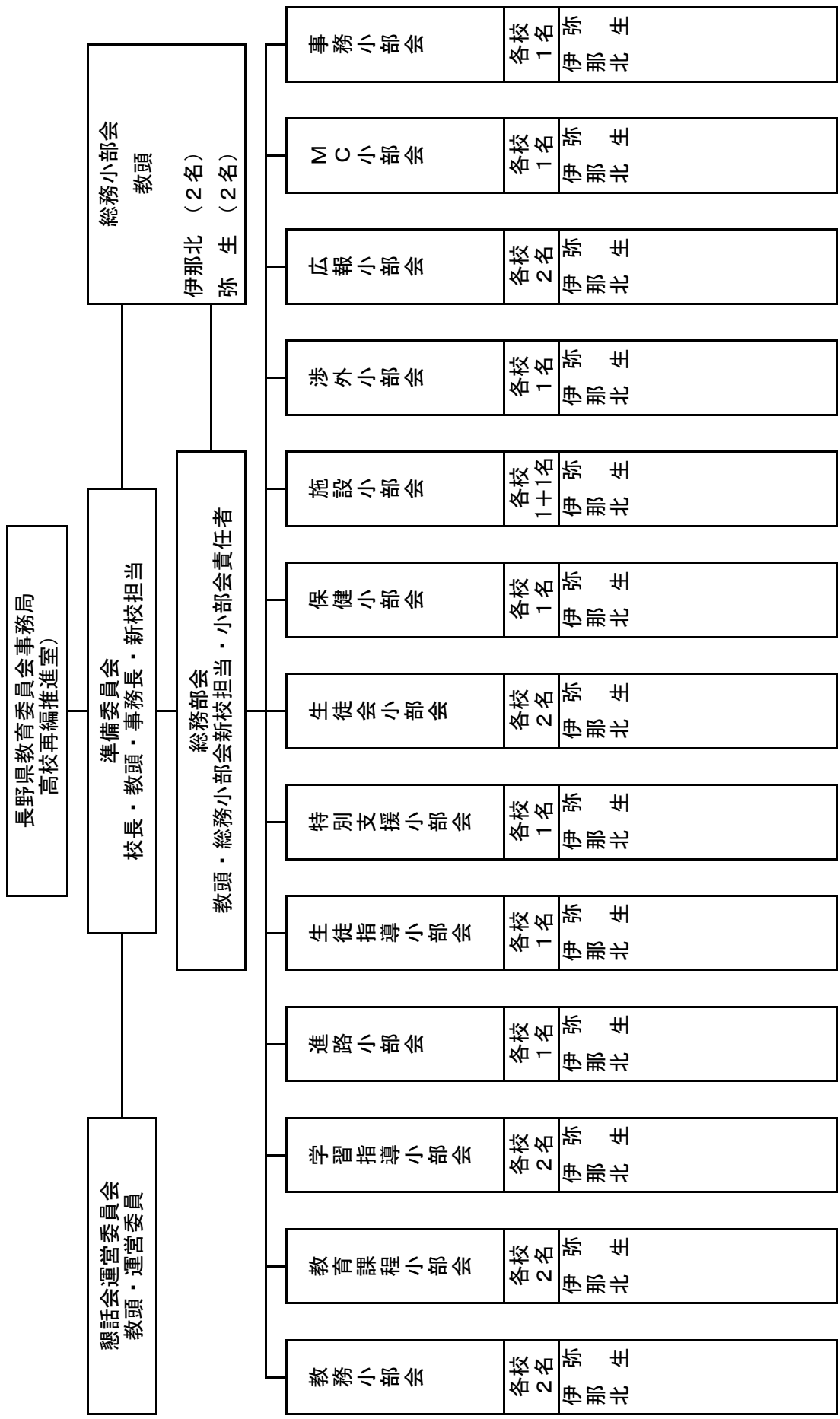
【伊那新校の学びについて「探究について思うこと」】

- 「探究」を現在の高校でも取り組んでいると聞いていたが、新校でも活発になればと願う。
- 探究学習は今後の学びにおいて、重要なパートを占めると思う。
- 学びを受ける側から、主体的に学びに向かう姿勢になることで、自分のなりたい将来や好きな勉強を見つけられるのではないかと思った。
- 全国的に探究の授業の取組は必要とされているため、新校では、探究の質や独自性(地域を深く知るなど)が大切になると思った。探究活動と教科の学習が常に行き来するものとして学んでほしい。
- 今の社会において、知識だけでは不十分。やっているときは「大変」だが、確実に成長につながる。
- 探究に取り組んでいて、その道に詳しい大人の考えやアドバイス、力が欲しいときに相談できる場がほしい。
- 探究的な学びは、進路選択が広がる素晴らしい機会だと思う。
- 大人と関わる機会が少ないが、探究活動をきっかけに、地域の面白い大人に出会えたり、仲間のすばらしさを感じたり、貴重な経験ができた。
- 探究に取り組んでいたもので出会えたものがあり、それを基に進路に向けた準備をしている。
- 探究のテーマが何でもいいと言われて困る生徒もいると聞いている。テーマ設定について、地域の課題等を地域から聞き取っていただくことも行ってほしい。
- 懇話会のみなさんで、探究の授業を実際に見ることができたらよいと思う。

【NSDプロジェクトの進捗状況について】

- ハイレベルな教育・学びを実現できる仕掛けがほしいと思う。
- 予算に関わることだが、直線的な部分だけでなく、曲線的な部分を意識して取り入れられたらいいと思う。
- FLAの導入は革新的で生徒、先生の交流が顕著になるもので、これからの時代や教育には素晴らしいものだと思う。
- 資料に「伸びやかで深呼吸できそうな」とあり、そのような施設になればと思う。
- 探究が行える校舎になるかというのも、大切な観点になると思う。

伊那新校設立準備組織図



令和7年度 再編成を行う

令和9年度 校務分掌・委員会毎の編成とする

伊那新校の検討状況

1 教育課程小部会

(1) 教育課程編成のスケジュール

- 令和5年度 教育課程（原案）の作成、県教育委員会との調整
- 6年度 教育課程ブラッシュアップ、県教育委員会との最終調整
- 7年度 令和8年度入学生教育課程承認申請
- 8年度 令和8年度入学生より再編後の教育課程実施

(2) 視察校（R4～R5）単位制実施校

- ・埼玉県 浦和 浦和北
- ・栃木県 宇都宮 栃木 足利
- ・神奈川県 神奈川総合 横浜栄 小田原 横浜国際
- ・東京都 新宿

(3) 検討している内容

- ①単位制を活かした選択幅が広がる選択科目の設置
- ②履修モデル
- ③自習時間のある教育課程

(4) 今後の検討（課題）

- ・特色学科の検討（総務小部会・準備委員会との連携事項）

2 生徒会小部会

(1) 現在の両校の部活動（*：どちらかの高校にしかないクラブ）

伊那北高校	伊那弥生ヶ丘高校
◎運動部 野球 サッカー 陸上 水泳 硬式テニス（男・女）ソフトテニス（男・女） バレーボール（男・女）卓球（男・女） バスケットボール（男・女） バドミントン（男・女）弓道 剣道 *フェンシング *ラグビー	◎運動部 野球 サッカー 陸上 水泳 硬式テニス（男・女）ソフトテニス（男・女） バレーボール（男・女）卓球（男・女） バスケットボール（男・女） バドミントン（男・女）弓道 剣道 *ソフトボール（男・女）
◎文化部 演劇 美術 写真 ダンス 書道 将棋 囲碁 英語 家庭科 軽音楽 吹奏楽 合唱 *弦楽 *文芸 *漫画研究 *天文気象 *生物 *化学 *物理	◎文化部 演劇 美術 写真 ダンス 書道 将棋 囲碁 英語 家庭 軽音楽 吹奏楽 合唱 *器楽 *邦楽 *華道 *茶道 *電気通信

(2) 課題・地域へのお願い

- ①建て替え期間中の活動場所の保障 公共施設の優先利用と使用料について
- ②再編後の活動場所の保障 公共施設の利用と使用料について

統合の方法について

高校再編推進室

1 これまでの統合校の例

<年次統合>

○飯山高校 ○中野立志館高校 ○須坂創成高校 ○木曾青峰高校

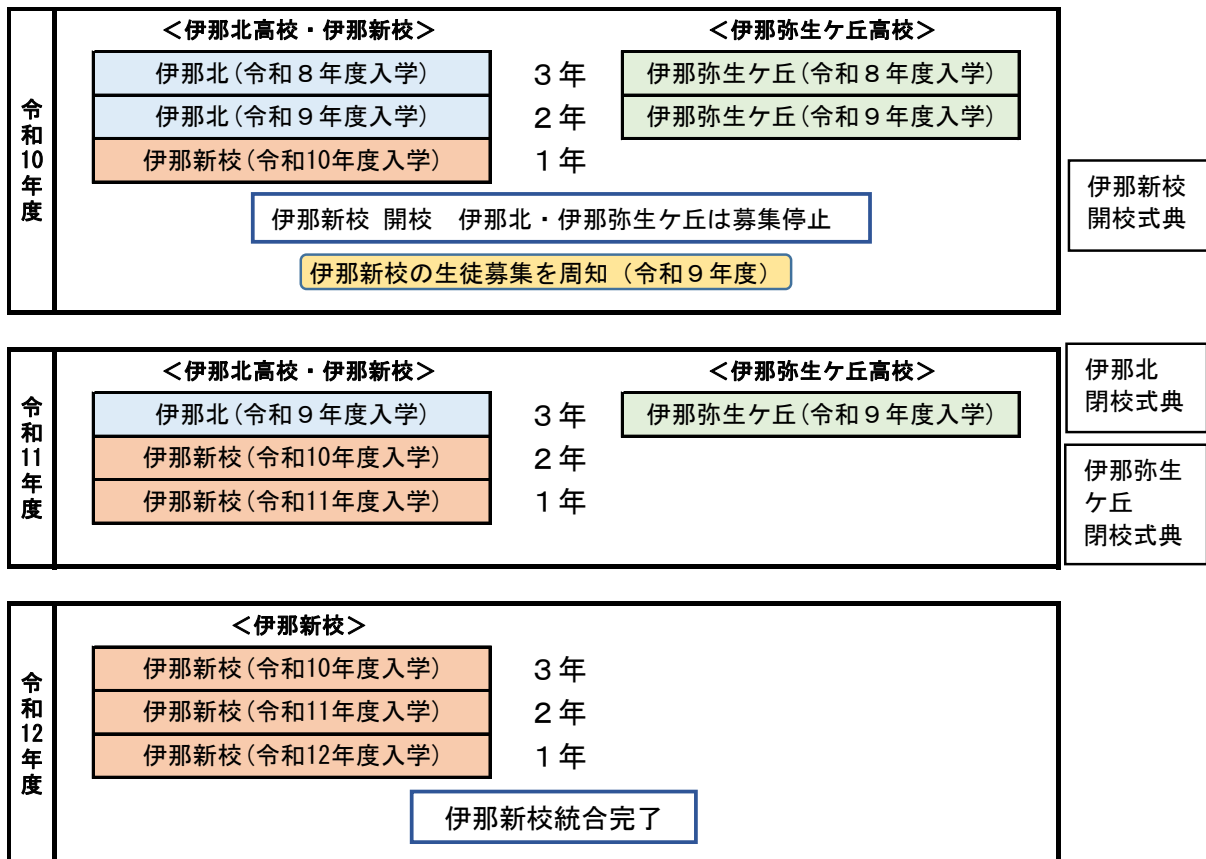
<一斉統合>

○佐久平総合技術高校 ○飯田 OIDE 長姫高校 ○大町岳陽高校

2 年次統合

- 伊那北高校・伊那弥生ヶ丘高校に入学した生徒が、それぞれ伊那北高校・伊那弥生ヶ丘高校で卒業
 - ・入学時の校名と卒業時の校名が同一
 - ・同一校地に2つの校名が存在（校名の併用）
- 令和11年度末に、伊那北高校、伊那弥生ヶ丘高校の閉校行事を行う

<統合の様子>



3 一斉統合

- 伊那北高校・伊那弥生ヶ丘高校に入学した生徒が、伊那新校で卒業
 - ・入学時の校名と卒業時の校名が異なる
 - ・令和9年度の1、2年生は令和10年度に伊那新校に転校
- 令和9年度末に、伊那北高校、伊那弥生ヶ丘高校の閉校行事を行う

<統合の様子>

